

(仮称)佐倉西部自然公園

第5回ふるさと会・里山会合同会議 会議概要

1. 名称 (仮称)佐倉西部自然公園 第5回ふるさと会・里山会合同会議
2. 日時・場所 平成23年8月21日 10:00～ 下志津 ふれあい会館
3. 参加者 地区代表：畔田里山会6名、下志津ふるさと会15名
市民団体代表：仮称佐倉西部自然公園支援し隊 5名
隣接公共機関：東邦大学医療センター佐倉病院2名、千葉県立佐倉西高等学校1名 公園緑地課3名、環境保全課2名 計34名 (傍聴4名)
4. 内容 1)新メンバー自己紹介

公園：前回会議でご了承いただいた組織図に基づき、新たに参加いただく団体の方です。

仮称佐倉西部自然公園支援し隊(支援隊)	佐倉自然同好会、畔田竹刈り隊、人づくり街づくり環境づくり、畔田谷津の生命を見守る会、人と自然をつなぐ仲間・佐倉の5団体で構成しています。「支援隊」と呼びください。
東邦大学医療センター佐倉病院	病院の周囲には自然がかなり残されていると感じています。地域医療や防災の観点から、お話をさせていただければと思います。
千葉県立佐倉西高等学校	一昨年あたりからお話を伺っていきまして、学校をあげて楽しみにしております。いい形で進展したらと考えています。

2)(仮称)佐倉西部自然公園の概要と前回会議について

公園：初めて参加される方もいらっしゃいますので、改めて概要から説明いたします。

用地取得の経緯	牧草生産を目的とする法人が、土地区画整理事業を断念した(株)大林組の所有地を買収し、谷津低地を埋め立てようと計画していました。佐倉市は、市街地の隣接地区では希少となった谷津田と斜面林が一体として残されている区域であり、周辺住民の憩いの場ともなっていることから、この区域を公園として保全することとし、印旛沼流域の水環境保全、谷津や里山環境保全の観点から、市民の自然体験学習や環境活動実践の場として活用するため、平成18年に(株)大林組より公園用地の一部約34.8haを取得しました。佐倉市所有地は、道路や水路などの公共用地を合算しますと約43.4ha、全体面積73.8haの約6割であり、残りの4割が民有地です。
整備検討会	平成19年11月に(仮称)佐倉西部自然公園整備検討会が設置されました。整備検討会は、学識経験者・地元地区代表・市民公募・関係団体・行政により構成され、市民や市民団体からの意見を反映しつつ、1年半の期間で14回の会議を重ね、平成21年3月に整備基本計画を策定しました。(付記)現在のふるさと会・里山会の会長さんは、検討会の構成員としてご活躍され、その後、公園の清掃管理や地区の意見を集約してお話くださる等、様々な形でご尽力いただいています。
現在の状況	現在、整備基本計画で分けられたA B C D 4つのゾーンのうち、Aゾーンは下志津地区で構成された「ふるさと会」が、Cゾーンは畔田地区で構成された「里山会」の皆さんが、整備基本計画に基づき、イメージ図・詳細計画を策定しています。
合同会議の目的	この合同会議は、B・Dゾーンを含めた公園全体のイメージ図・個別詳細計画を各ゾーン調整しながら策定することを目的としています。
第4回(前回)会議の概要	公園緑地課：境界確定・緊急雇用事業・散策マップ、看板作成 環境保全課：Bゾーン下流域で平成18年度より千葉県環境財団から補助を受けている事業・ワークショップ活動の報告 合同会議の運営手法について協議 ふるさと会・里山会の清掃協力や運営について報告 その他、地権者説明会・ゴミ問題、各施設の優先順位、仮設トイレ、散策マップ *詳細は、配布の第4回会議概要をご覧ください。

3) 緊急雇用事業について

公園：緊急雇用事業についてご説明いたします。

緊急雇用事業とは？	雇用失業情勢が厳しい中、国から緊急雇用創出事業臨時特例交付金が都道府県に交付されました。これを基金として、千葉県や市町村は離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対し、次の雇用までの短期雇用・就業機会を創出・提供するための事業を実施します。
公園緑地課では	平成 21 年度からこの基金を活用し、(仮称)佐倉西部自然公園区域内の山林整備を行っています。人も分け入ることができない荒廃した農道・水路・谷津田等を切り開き、里山景観の復元に努めてまいりました。
今年度は	8月11日に入札を行い、Aゾーンは飯高造園土木(株)、Cゾーンは(有)山本造園が落札しました。契約後、ハローワークで作業員の募集を行いますので、実際の作業は9月中旬以降となる予定です。
来年度からは	なお、基金から事業費が100%補助されるのは今年度までとなります。来年度からは市単独の予算が必要となります。詳細個別計画を確定し、早めに市の予算の前提となる実施計画に計上したいと考えています。

4) ふるさと会・里山会の取り組みについて

公園緑地課：公園、ふるさと会：ふる、里山会：里山、支援隊：支援、環境保全課：環境
東邦大学医療センター：東邦、県立佐倉西高校：西高

公園：	(下志津ふるさと会の百合・畔田里山会の清掃協力、ヒマワリ) Aゾーンふるさと会の皆さんが、冬の寒い時期、下志津の台地の部分にボランティアでユリを植えて下さいました。そのユリが7月上旬に見頃を迎えました。写真を配布しますので、ご覧ください。当初の心配をよそに殆どのユリが開花しました。宿根のため、花後の処理を行えば来年もきれいに咲いてくれそうです。台地部分を百合が丘として、Aゾーンの目玉となるのではないのでしょうか。Cゾーン里山会さんには、清掃協力で草刈りとゴミ拾いを実施していただきました。また、7月に会議を実施しました。また、公園緑地課で畔田地区の野球場手前にヒマワリを植えました。8月上旬から見頃となり、種類によっては今もご覧いただけます。9月に刈取り、来春は菜の花・レンゲ等を考えています。
ふる：	1月の雪の降る日に植え付け、4月に芽が出て、7月上旬に見頃を迎えました。現在は、下志津ふるさと会が整備したグラウンドゴルフ場の奥だけとなります。今年は緊急雇用事業の方でグラウンドゴルフ場の周りを畑の状態にしておいていただき、囲むような形で球根を植え付けたいと思います。 (仮設トイレの設置について)
ふる：	是非、仮設トイレの設置をお願いしたい。下志津のグラウンドゴルフ場は - 僕たちは百合が丘公園と呼んでいます - 高齢者・子ども会が利用し、公園の散策路としても利用されています。ちょうど7月の百合の時期、生い茂った木陰の涼しさのため、見に来る方も多かったように聞いています。もっと百合を植えたいと考えています。よろしくお願いします。 (仮設トイレの管理について)
公園：	設置場所は、Aゾーンは百合が丘、Cゾーンは炭焼き窯付近に各1基ずつ、時期は9月半ば以降を予定しています。できれば、管理を地元のふるさと会、里山会さんをお願いしたいと考えているのですが、いかがでしょうか。
ふる：	使い放しではね。
里山：	炭焼き窯奥の野球場に来る人がいますので、話をしたいと思うのですが。
公園：	基本的には野球場のためのトイレではありませんので、野球場関係者の方だけが管理する訳にはいかないかなと。里山会さんと野球場の方と例えば交代で管理するなど、お話しをして取り決めするのは問題ないと思います。
支援：	バイオトイレなどはどうですか。もみ殻などを利用したもので。

公園：	かなり設置費用がかかる設備ですので、全体計画で施設の配置が決まりませんと、予算どりを行うことができません。皆様のご協力をもって個別計画を策定していただき、実施計画にのせていきたいと考えています。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------

5) B・Dゾーンのイメージ図作成について

公園：	A・Cゾーンは地元ふるさと会・里山会からの提案によるイメージ図があります。予算要求や看板作成等などにあたっては、全体的なイメージ図が必要ですので、B・Dゾーンもイメージ図を早急に作成する必要があります。Bゾーンでは、環境保全課がワークショップ事業を行い、支援隊も深く関係されていますので、環境保全課と支援隊の皆さんにイメージ図の作成をお願いしたいです。
支援：	是非、それをお願いしたいと思います。
環境：	了解しました。
公園：	最終的には都市公園ですので、市民の皆さまが誰も入れるように、最低限、運動靴程度で入れるような形で、ご考慮いただきたいと思います。
支援：	概略の案を作成してきました。環境保全課と協働して約70名の畔田ワークショップでBゾーン谷津上流側に田んぼ、休耕田に池を作っており、現在は、ほぼ最終イメージに近い形になっています。Dゾーンは、手をつけないことが前提です。とても良い杉林が竹でダメになるため、少しずつ手を入れる必要がありますが、計画では最後になります。また、B・D以外のゾーンにも谷津・台地・斜面林が良い状態で残っています。サシバは区域全体で生きているものですので、生き物たちと人とがうまく一緒に共存して棲めるような形で、全体としていい形で残していけたらと。五反目谷津も草刈りにより、貴重な植物が出て来ました。各ゾーンの計画もありますが、その中でエリア分けをして保存していく方向も。畔田ワークショップの方々にも会議の出席等お話す予定です。
里山：	A・Cゾーンの今までのプランをお渡しして、支援隊の案に反映させた方がよいのではないのでしょうか。これが計画と勘違いする方もいらっしゃるかなと。
支援：	今日回覧させていただいたのは、我々が考える理想的な形ですので、その辺は色々すり合わせながら。生物がたくさんいる公園にしたいし、人も憩える公園にしたいということで、これからのお話をさせていただきたいと思います。
里山：	Cゾーンについては、これまで何回もの会議を重ね、ある程度の形を作ってきました。それからまだまだ見直しするというお考えですか。市は。
公園：	区域の内側については、当然、地元の方の思い入れがありますので、各ゾーンの周辺部分の取扱を調整していくことを公園緑地課では考えています。
里山：	調整、調整・・・畔田地区でも1年かけてやっている訳です。その調整は一部分？総体的？今までは何だったのだろうかという気持ちもあります。
公園：	相対的なものではないです。アクセス道路や連絡路などに関しては、基本的に調整は必要と考えています。整備基本計画で公園区域をA B C D 4つのゾーンに分けたのは、それぞれのゾーンに特色を持たせた公園を作っていくこと。整備基本計画の内容に照らし、一概に全て同じにするものではないと思われま

6) その他

	(散策マップ案について)
公園：	下志津の百合・畔田のヒマワリを市ホームページでお知らせしています。お問い合わせも結構ありますが、道順のご説明が難しく、看板などで早く啓発を図りたいと考えています。今回、散策マップの案をお持ちしました。いかがでしょうか。私どもで、できる範囲で色々やっていきたいと考えています。
支援：	最終的には公園全体をつなぐ散策マップになる訳ですね？
公園：	はい。B・Dゾーンの状況をみながら、ご協力いただいて。まずはA・CゾーンにA 3位の大きさでラミネートした看板を設置したいと思います。職員の手作りですので・・・ご意見いただければと思います。

	(地権者への説明について)
公園 :	個別の計画がまとまらないうちにお話できにくいのですが、地元の方々のご心配などは理解しております。対策として、まずQ & Aを地域全戸に回覧し、同時に全体個別計画を策定しながら、なるべく早い時期に地権者の方にご説明できれば。基本的に畔田と下志津は同時進行が良いのかなと考えています。
里山 :	少しでも早く地権者の承認をとらないと、今までの計画策定が何だったのかということになります。計画と同時に説明も進めて欲しいなと考えています。
ふる :	以前の地権者説明会はどうでしたか？
公園 :	ゴミ山問題などのお話は出ました。相続等で地区にいない方などは、ピンとこない部分もおありで、今やれば、色々なご意見がいただけるかなと思います。
里山 :	里山会が行っている月1回の会議概要を地区全戸に回覧していますので、概略は把握していると思います。ただ、公園は無償借地の代わりに固定資産免除といっても、例えば相続税で物納になった場合、公園は財務省から買い取るのか？国交省と財務省の評価は異なります。分かりやすいQ & Aを求めます。
	(Aゾーンの道路について - 整備の優先順位)
ふる :	Aゾーンへの道路が狭いため、畔田へ行く道路から進入できるよう拡幅していただきたい。その後看板設置など、来る方にとっても良くなると思います。
公園 :	Aゾーンのイメージ図の中でも拡幅する位置づけの道路ですね。全てを一気に行うことはできませんので、全体計画がまとまった時点で優先順位付けが必要です。ふるさと会さん、里山会さんともに、ある程度の道路拡幅は必要であるというご意見をいただいていますので、最優先でやらせていただきます。
	(地域防災について)
病院 :	公園区域が避難拠点となる可能性もあるかと。私どもは佐倉の約7割の救急を受け入れており、災害時拠点病院としての責務、といった観点も持っています。災害時には平らで緊急車両が使える空間が重要です。今の駐車場だけでは対応し切れない部分もあり、ご考慮いただければ。現在、県の災害時の支援病院として手を挙げていますが、大災害ではアクセス道が重要となり、山や谷を越えずに済む西高さんのグラウンドをヘリポートとして利用させていただくような計画を立てています。病院ではヘリポートを常設として考えてはいません。
西高 :	地震の規模にもよりますが、基本的には大丈夫だと思います。西高でも、先日の地震で体育館の照明や壁の剥落などの被害がありました。
公園 :	いざという時にも役立つ区域として利用いただければ良いですね。
支援 :	防災的な計画を盛り込むのは必要かと思います。また、市の財政状況が厳しくなる折、資金がなければ、良い案でも画に描いた餅です。市民と自治体との役割分担・予算・プライオリティなどをきちんとする必要があります。資金が一番大切ですが、高齢化のなか、いかに若い市民の協力を得ていくかも大切です。
	(皆さんへお願いしたいこと - 公園の名称について)
公園 :	整備基本計画では、名称を公募する、としています。純粹に公募するのか、合同会議で出された案に投票して決めるのか、意見の集約をお願いします。
	(写真を通じたPRについて)
支援 :	公園の写真を市で公募できないですか。写真をやる市民も多く、PRにも。
公園 :	例えば病院さんや西高さんで展示するというのはいかがでしょう。
病院 :	展示は時折やっていますね。常設ではありませんが。
支援 :	個人では影響力もありません。是非ともご検討、お願いしたいと思います。
	(チップについて)
支援 :	細かい話で恐縮ですが、百合の良い香りの時期に、チップがトラックで搬入されました。ちょっと臭いがありますので、撒く時期について考慮してください。
ふる :	チップはこれからも撒く予定ですか？
公園 :	散策路に敷く予定です。草刈りがとても大変になってしまいますので。

次回会議は、11月27日(日)10:00～ 場所は佐倉市役所で行う予定。

以上